

仙台まちづくり若者ラボ2023

仙台の多様性を探す旅

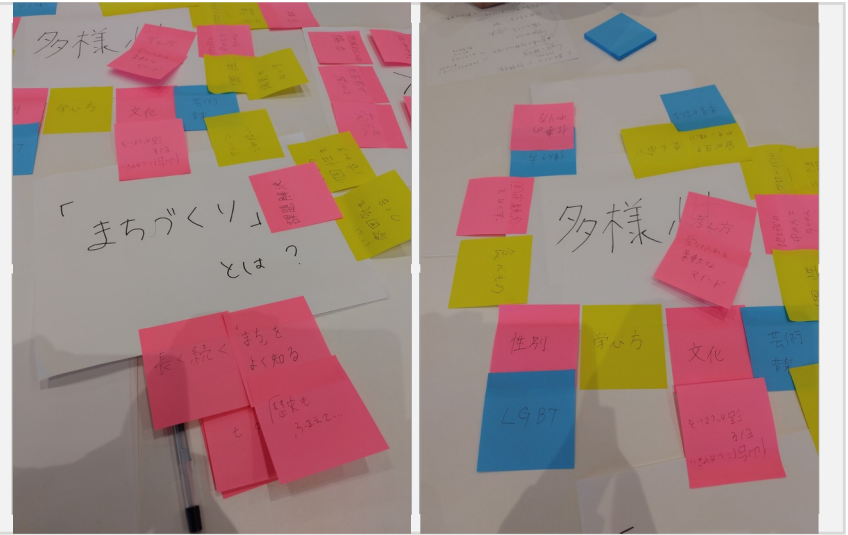


E 多様性 : DiverCity SENDAI



ワークショップ

- 付箋を使ってブレインストーミング
- まちの多様性ってなんだ？
- ジェンダー？国際交流？世代間交流？



テーマ

そもそも多様性とは何かを考える

メンバーが関心のある「多様性」に関連することを出し合って
海外の人との交流に興味を持つ人が多かった。

フィールドワーク①

- ゲストハウスKIKOの与茶さん
- 東城さん
- 小浜さん
- ジャスティンさん



- 外国人でも特別扱いをしない。
- 日常生活に困ってない。周りが言ってるだけ。
- 日本人よりも仙台に詳しい。



アクション

お話を伺って皆日常生活は困っていなかった。
そもそも私たちが、外国の人や男性・女性とカテゴリー別で分けていた。



人それぞれが多様であることが分かった！
一人の人として仙台の人にお話を伺おうと思った。

固定観念が
あった！

プラン

仙台の人に自分を表す5つのことを聞いた

自分がどういう人なのか聞くために、趣味や好きな食べ物、性格などをインタビューした。
インタビューした人に自分が思う仙台の魅力を聞いてみた。

アクション

- 実施日（計3回）

10月11日／11月8日／11月16日

- 場所

AER前／仙台駅入口／PARCO前

- 反省

質問項目が多すぎて圧迫感を与えてしまった。でもボードを作ったのは興味を持ってもらえてよかった！

- 気づき、もっとこうしたい！

意外と答えてくれる人が多かった。1人15分近く話していたので、他の方の話も聞きたかった！



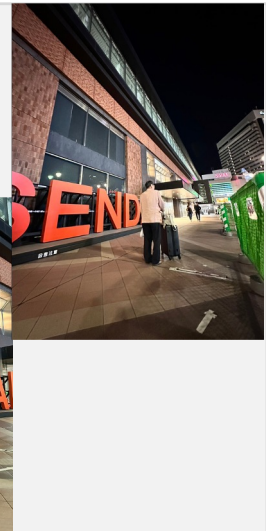
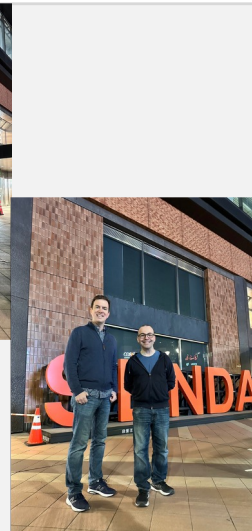
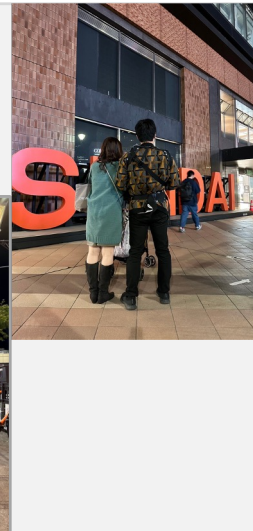
フィールドワーク②

外国籍やLGBTQ+など関係なく、仙台にいる“多様な人”に出会うべき！

- 場所：仙台駅前
- 方法：のべ50人にインタビュー
- 三か国語でInstagramに後ろ姿を投稿



- そば職人兼キノコ採り好きのおじいさん
- 焼肉屋の店長
- 特撮好きの来日観光客
- 沖縄帰りのまちづくり建築家



まとめ

半年間の活動を通しての成果や課題などのポイント

- 自分の固定観念を無くして人と関わることが出来た。
- 第一印象で人をラベリングせずに向き合う。
- 世界には多様な人がいる！！！！

みんなが主人公！

これからの日常生活では・・・

属性でラベリングせず一人一人の話を直接聞く

見た目や話し方などで決めつけず、人を一人の人として見る。

話を聞きながらその人のことを知っていきたい。